

中学地理プリント（過去問類似）

東北地方

名前

得点

/9

問1 東北地方の略地図において、北に青森県、南に宮城県、西に秋田県と境界を接している岩手県の領域で、古くから盛岡市や奥州市を中心に作られている伝統的工芸品があります。鉄を主原料とし、重厚な質感が特徴のこの工芸品として正しいものを選びなさい。（2020年 高知公立入試 類似）

1. 南部鉄器 2. 会津塗 3. 天童将棋駒 4. 津軽塗

問2 日本の各地方における農業産出額の内訳を比較した際、関東地方や近畿地方では野菜の割合が相対的に高いのに対し、ある地方では米の割合が32%を超えて三地域の中で最も高くなっています。あきたこまちなどの産地銘柄米の生産が盛んな、この地方の名称として正しいものを選択してください。（2021年 鳥取公立入試 類似）

1. 東北地方 2. 関東地方 3. 近畿地方 4. 九州地方

問3 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東風が吹き込むことがあります。この風の名称と、それが農業に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 岡山公立入試 類似）

1. 風の名称はやませであり、気温が上がらないことで稲の生育を妨げる冷害の原因となる。 2. 風の名称はからっ風であり、乾燥した空気が続くことで畑作物の成長を止める原因となる。 3. 風の名称は季節風であり、山脈を越えて日本海側に大量の雨や雪をもたらす原因となる。 4. 風の名称はフェーン現象であり、急激な気温の上昇によって農作物を枯らす原因となる。

問4 東北地方のある地点の気候統計を分析すると、1月の平均気温がマイナス2度前後と非常に低く、8月の気温は24度を超過しています。降水量は、冬場（12月～2月）は各月100mm未満と少ないのに対し、夏場（7月～9月）は季節風や梅雨の影響で各月200mmを超える数値を示しています。この統計に該当する都市として最も適切なものはどれですか。（2025年 茨城公立入試 類似）

1. 盛岡市 2. 秋田市 3. 仙台市 4. 酒田市

問5 東北地方の夏において、冷たく湿った北東風が吹き込み、奥羽山脈の東側で霧や低い雲が発生して低温や日照不足が続くことがあります。このような気象条件によって、米などの農作物の生育が妨げられる被害を何といいますか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 冷害 2. 干害 3. 公害 4. 塩害

問6 中央部に火山や深い湖があり、東部で「ごぼう」の生産が盛んな地域では、収穫された農作物を大消費地である東京へ供給するためにどのような工夫がなされていますか。流通の仕組みとして正しいものを選びなさい。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 収穫後に冷蔵庫で保管し、トラックを用いて約10時間かけて輸送する。 2. 鮮度を維持するために、収穫後すぐにフェリーで2日かけて近畿地方へ運ぶ。 3. 施設栽培により生産時期を調整し、航空便を用いて海外へ輸出する。 4. 収穫後すぐに加工工場へ運び、すべて缶詰や冷凍食品として出荷する。

問7 東北地方の三陸海岸沖は、北から流れてくる寒流と南から流れてくる暖流がぶつかり合うことで、世界的な漁場となっています。この三陸海岸沖を北から南へと流れる、栄養分が豊富な寒流の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 広島公立入試 類似）

1. 千島海流（親潮） 2. 対馬海流 3. リマン海流 4. 日本海流（黒潮）

問8 冬の降水量について、日本海側に位置する秋田市が、太平洋側に位置する宮古市よりも顕著に多い理由として最も適切な説明はどれですか。地形と風の影響に着目して選びなさい。（2026年 福岡公立入試 類似）

1. 湿った北西の季節風が奥羽山脈にぶつかり、日本海側に雪を降らせるため 2. 冷涼な北東風であるやませが奥羽山脈を越え、日本海側に水分をもたらすため 3. 暖流の対馬海流の影響で上昇気流が発生し、奥羽山脈の西側で雨が降るため 4. 夏に吹く南東の季節風が奥羽山脈に遮られ、日本海側でフェーン現象が起こるため

問9 1949年と2025年の山形市北部の地形図を比較した際、羽羽本線の東側地域で見られる土地利用の変化として最も適切なものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. かつては田畑が目立っていた場所に、住宅地が形成され郵便局などの公共施設が新設された 2. 高齢化社会への対応として、大規模な老人ホームや福祉施設が広範囲に建設された 3. 仙山線の新設に合わせて、駅前を中心に大規模な商業ビルが立ち並ぶようになった 4. 農業の効率化を図るため、散在していた田畑が集約され大規模な国営農場へと変化した

答え合わせ・解説

問1	答え 1 南部鉄器	岩手県は古くから砂鉄や鉄鉱石、燃料となる木炭などの資源が豊富であったため、鑄物の生産が発展しました。盛岡市と奥州市（旧水沢市）を中心に製造されている南部鉄器は、1975年に国（当時の通商産業大臣）によって伝統的工芸品の第1号として指定されました。選択肢にある会津塗は福島県、天童将棋駒は山形県、津軽塗は青森県の伝統的工芸品です。
問2	答え 1 東北地方	東北地方は日本の穀倉地帯と呼ばれ、広大な平野を活用した大規模な稲作が行われています。統計データにおいても、都市近郊農業が盛んで野菜の割合が高い関東や近畿と比べ、米の生産額が占める割合が非常に高いのが特徴です。冷涼な気候に適応しつつ、食味の良い「あきたこまち」や「ひとめぼれ」といった産地銘柄（ブランド米）の育成に力を入れることで、全国的な米の供給基地としての地位を築いています。
問3	答え 1 風の名称はやませであり、気温が上がらないことで稲の生育を妨げる冷害の原因となる。	オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な北東風は「やませ」と呼ばれます。この風が奥羽山脈の東側である太平洋側に吹き込むと、夏でも気温が上がらず、日照不足を引き起こします。その結果、主食である稲の生育が悪くなる「冷害」が発生し、東北地方の農業に大きな影響を及ぼしてきました。
問4	答え 1 盛岡市	秋田市や酒田市などの日本海側に位置する都市は、冬の季節風の影響で1月や2月の降水量（降雪量）が非常に多くなるため、冬の降水量が少ないという条件に合致しません。また、仙台市などの太平洋沿岸は、盛岡市ほど1月の平均気温が下がらず、氷点下になることは稀です。1月の気温が氷点下かつ冬の降水量が抑えられているという特徴から、内陸部に位置する盛岡市が最適です。
問5	答え 1 冷害	「やませ」が吹くと、奥羽山脈に風が遮られることで太平洋側の地域に霧や雲が停滞し、夏の気温が上昇しなくなります。稲の開花や結実の時期に気温が低い状態が続くことで、米が十分に実らない現象を冷害と呼びます。これに対抗するため、東北地方では低温に強い品種（耐冷性品種）の開発や、水田の水を深く張って稲の根元を保温するなどの対策が行われています。
問6	答え 1 収穫後に冷蔵庫で保管し、トラックを用いて約10時間かけて輸送する。	福島県周辺で生産されるごぼうは、品質と鮮度を維持するために収穫後に冷蔵保管されるのが特徴です。また、東北地方という立地を活かし、高速道路網を利用したトラック輸送によって、約10時間という半日圏内で東京などの首都圏市場へ安定的に供給する体制が整えられています。
問7	答え 1 千島海流（親潮）	東北地方の東側に位置する三陸海岸の沖合では、北から流れてくる寒流である千島海流（親潮）と、南から北上してくる暖流の日本海流（黒潮）が合流します。この寒流はプランクトンを豊富に含んでおり、魚を育てる「親」のような役割を果たすことから親潮とも呼ばれます。
問8	答え 1 湿った北西の季節風が奥羽山脈にぶつかって、日本海側に雪を降らせるため	日本の背骨にあたる奥羽山脈は、冬に日本海を渡って湿気を蓄えた北西の季節風を遮る役割を果たします。この湿った風が山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に多くの雪をもたらします。一方で、山脈を越えて太平洋側に吹き降りる風は乾燥しているため、宮古市などでは秋田市に比べて降水量が少なくなります。
問9	答え 1 かつては田畑が目立っていた場所に、住宅地が形成され郵便局などの公共施設が新設された	山形市北部の時系列的な地形図の比較では、羽羽本線の東側において、1949年当時に広がっていた田畑が2025年には住宅地へと転換されていることが確認できます。また、人々の生活を支える郵便局などの公共施設も新たに書き込まれており、典型的な都市化の進展に伴う土地利用の変化を示しています。選択肢にある「老人ホーム」や「仙山線の新設」は、この地域の具体的な変化を示す地形図の特徴とは合致しません。